



令和8(2026)年度 夏休み号 檀原市立真菅北小学校 令和8年7月 17 日

真菅北だより

学校教育目標 自ら学び、考え、判断して行動できる心豊かでたくましい児童の育成

「じぶんのために」「みんなのために」過ごす夏休み

1学期の始業式、子どもたちに「じぶんのために」「みんなのために」という合言葉を贈りました。「漢字を覚える」「発表をがんばる」「そうじを頑張る」「あいさつをする」「毎日休まず学校に来る」など、それぞれが自分なりのめあてを決めて本当によく頑張りました。新しいクラス、新しい担任、新しい環境の中で、一から人間関係を築きながら過ごす1学期は、一年間の中で最もエネルギーを使う時期です。その緊張感や忙しさの中で、一人一人が自分らしく踏ん張り、大きく成長してくれました。ご家庭でも、この1学期の子どもたちの努力と成長の足跡を、ぜひたくさん褒めてあげてください。

さて、いよいよ待ちに待った夏休みが始まります。学校という決まった時間割やルールから離れるこの長期休みこそ、主体性を育む絶好のチャンスです。学校ではない場所、つまり「家庭」や「地域」において、子どもたちは「じぶんのために」「みんなのために」何ができるでしょうか。ご家庭での会話のきっかけや、ヒントになるような具体例をご紹介します。

「じぶんのために」できること(自己管理・挑戦・感性を磨く)

「やりきった!」と言える学びや創作に挑戦する

○自由研究に挑戦: 「なぜアリは行列を作るのか」「家の中の冷たい場所調べ」など、疑問に思ったことや面白そうだなと思ったことを、時間をかけて観察・記録する。

○読書ノートを作る: 図書館や電子図書館を活用して、「夏休み中に20冊読む」などの目標を決めて、短い感想を記録に残す。

○苦手克服プログラム: 「逆上がりができるようになる」「漢字を覚える」「九九を完璧に暗唱する」など、1学期の宿題を自分で決めて特訓する。

体と生活を自分でコントロールする

○マイ時間割の作成: 午前中の涼しい時間に宿題を終わらせるなど、1日のスケジュールを自分で立てて実行する。

○「早寝・早起き・朝ごはん」の継続: 休みの日も学校がある日と同じ時間に起き、自分の健康な体づくりを意識する。

○デジタルデトックス時間: 「ゲームやタブレットは1日1時間、夜〇時以降は見ない」という約束を自分で決めて守る。

新しい体験で感性を刺激する



○はじめての体験： キャンプで自然に触れる、美術館で本物の絵画を見る、知らない町に出かけるなど、五感を使う体験をする。

「みんなのために」できること(責任・感謝・貢献)

家庭内での「じぶんの仕事」を毎日やり遂げる

○おうちの環境を整える：「お風呂掃除」「玄関の靴並べ」「新聞取り」「ゴミ出し」「花の水やり」「洗濯物たたみ」など、自分の担当を決めて毎日欠かさず行う。

「食」を通して家族を支える

○週末のご飯担当：「土曜日の朝ごはんは自分が作る」「夕食のサラダ作り」「使ったお皿洗いを担当する」など、家族の食事作りに貢献する。

○買い出しサポーター：スーパーへの買い物に同行し、荷物持ちや、事前にメモした買い出しリストのチェック係を務める。



地域や社会、他者への思いやりを形にする

○明るい挨拶：近所の人、お店の店員さんに、自分から進んで「こんにちは」「ありがとうございます」と声をかける。

○「ありがとう」を伝える：普段お世話になっている人、おじいちゃん、おばあちゃんなど身近な人に感謝の手紙を書いてみる。

ここに挙げた例はほんの一例です。大切なのは、たくさんやることではなく、「自分で『これをやる』と決めてやり通すことです。家庭や地域という場所は、学校よりも自由度が高い分、子どもたちの「主体性」が試されます。せっかくの45日間の「自由時間」失敗も成功もすべてが貴重な経験です。学校ではできない経験をたくさん積んで、「じぶんのために、みんなのために、やりきった」達成感を味わって2学期を迎えてください!!





学級のあいことば

1年生から6年生まで
すべてのクラスで学級会
を行い、「あいことば」を
考えました。

それぞれに、クラス全員
の思いがこもっていま
す。

PTA 清掃ボランティアの皆様へ

昨日は、清掃ボランティアへのご協力、本当にありがとうございました。今回は過去最多、20名以上の皆様にご参加いただき、心から感謝申し上げます。

大変な暑さの中、45分間にわたり、普段はなかなか手の届かないトイレ掃除や窓拭きなどを、子どもたちの大掃除と並行して熱心にお手伝いいただきました。

作業を終えたときには、ご参加いただいたみなさんも子どもたちも汗びっしょりでクタクタになっていましたが、見違えるようにきれいになった校舎を前に、何とも言えない心地よい「やりきった」という充実感を一緒に味わうことができました。

皆様の温かいサポートのおかげで、子どもたちもより気持ちよく学校生活を送ることができます。暑い中、学校のために力を貸してくださり、感謝、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

